

電子版 続真言宗全書 DVD-ROM

・ 刊行に際して……………一  
・ 続真言宗全書 総目次……………三  
・ 収録データに関して……………一四

編纂・監修 高野山大学密教文化研究所  
製作・販売 小林写真工業株式会社



電子版 続真言宗全書 DVD-ROM

・ 刊行に際して……………一  
・ 続真言宗全書 総目次……………三  
・ 収録データに関して……………一四

編集・監修 高野山大学密教文化研究所  
製作・販売 小林写真工業株式会社

『続真言宗全書』刊行に際して

密教文化研究所  
所長 中村本然

密教文化研究所では、平成二十三年度の事業として、『電子版弘法大師全集』に続いて『電子版真言宗全書』を発刊し、第三弾としてこの度『電子版続真言宗全書』を刊行することになりました。

『続真言宗全書』は、昭和四十八年に挙行された弘法大師御生誕千二百年の記念事業として企画され、高野山金剛峯寺並びに真言宗関係の支援、高野山大学の教職員の協力により、十三年間の歳月を掛けて編纂され、昭和六十三年に事業の完成をみています。平成二十年には、研究者や真言宗関係の方々の要望により、再刊される機会を得ています。

『続真言宗全書』も他の仏教書籍や全集と同様に貴重な学問研究の資料であることは言うまでもありませんが、全集・全書の抱える事情により高価な設定になっております。そのために特に学生や新進の研究者には入手し難い文献に数えられています。

また昨今の社会状況として、OA機器の流通・普及により、インターネットでの交流や情報収集・検索などは日常の風景となっています。さらには、時代の要請によるのですが、『大正新修大藏経』をはじめ仏教関連の全集なども続々とWEB上で公開され、語句の検索も自由に行われる環境が調いつつあります。

このような社会の動向を考慮して、『電子版弘法大師全集』をはじめとする一連の事業は立案され実施されることになりました。『電子版続真言宗全書』の発刊によって、祖師大師の著作は言うに及ば

ず、末徒である先徳の撰述した注釈書など、真言密教の教相・事相を修学するための基礎となる資料がおおよそ揃うこととなります。研究所の事業の展開によつて、密教学・仏教学の進展は元より、祖風宣揚の一助になりますれば、望外の慶びであります。

# 総目次

諸經儀軌傳授次第目錄	著者	淨嚴	一
諸儀軌訣影	著者	淨嚴	一
諸儀軌稟承錄	著者	眞常	二・三
諸儀軌傳授撮要	著者	宥範	三
密軌問辨	著者	慧光	四
密軌問辨啓迪	著者	慧光	四
祕密儀軌傳授隨筆	著者	著者不詳	四
大日經疏除暗鈔	著者	道範	五
大毘盧遮那成佛經疏通明鈔	著者	道範	五
大日經疏	著者	杲實	六
金剛頂經開題勘註	著者	道範	七
金剛頂經開題幼學鈔玄談分	著者	杲實	七
金剛頂經開題問題	著者	宥快	七

全書卷次

十八會指歸鈔  
 瑜祇經祕傳鈔  
 理趣經玄譚  
 般若理趣經愚解鈔  
 理趣釋訣影抄  
 釋摩訶衍論鈔  
 菩提心論愚草  
 菩提心論引音  
 菩提心論私記  
 菩提心論追記  
 十住心論私記  
 祕密曼荼羅十住心論科註  
 藏中冶金抄  
 祕藏記鈔  
 祕藏記聞書

賴道祐著者不詳  
 賴道祐宜  
 淨嚴  
 宥快  
 賴瑜  
 宥快  
 曇寂  
 曇寂  
 政祝  
 秀翁  
 成賢  
 靜遍  
 我寶  
 七  
 七  
 七  
 七  
 八·九·十  
 十一  
 十一  
 十一  
 十一  
 十二  
 十三·十四  
 十五  
 十五  
 十五

祕藏記藏勘抄  
 祕藏記愚草  
 祕藏記勘文  
 祕藏記傳授抄  
 祕藏記實性合記  
 祕藏記旨要鈔  
 即身成佛義聞書  
 即身義東聞記  
 即身成佛義身心帝網鈔  
 即身成佛義身心帝網鈔羽翼自考記  
 聲字實相義愚草  
 聲字實相義研心鈔  
 卍字義問題  
 卍字義命息鈔  
 卍字義旋陀羅尼門釋  
 二教論手鏡鈔

我寶  
 賢寶  
 信日  
 宥快  
 建海  
 雄仟  
 道範  
 賴寶  
 妙瑞  
 妙瑞  
 賴瑞  
 道寶  
 雄仟  
 道範  
 賴寶  
 妙瑞  
 妙瑞  
 賴瑞  
 宥快  
 成雄  
 宥快  
 淨嚴  
 靜遍  
 十八  
 十八  
 十八  
 十八  
 十七  
 十七  
 十七  
 十七  
 十七  
 十七  
 十六  
 十六  
 十六  
 十六  
 十五  
 十五

二教論研覈抄  
 二教論談塵  
 祕藏寶鑰鈔  
 般若心經祕鍵愚草  
 祕鍵東聞記  
 祕鍵伊路波聞書  
 般若心經祕鍵問題  
 祕鍵文筆抄  
 般若心經祕鍵撮義鈔  
 般若心經祕鍵蛇鱗記  
 眞言本母集  
 纂元面授  
 顯密問答鈔  
 體大東聞記  
 知自心鈔  
 宗義初心鈔

杲 寶 十八  
 義 剛 十八  
 宥 快 十九  
 賴 寶 二十  
 賴 瑜 二十  
 成 雄 二十  
 印 融 二十  
 覺 眼 二十  
 三 等 二十  
 賴 寶 二十一  
 勝 賢 二十二  
 賴 瑜 二十三  
 賴 寶 二十三  
 宥 快 二十三  
 堯 智 二十三

宗義祕傳私鈔  
 密宗佛身建立鈔  
 辨辨惑通衡  
 祕密法訓  
 六大法身記  
 胎金祕要鈔  
 兩部曼荼羅祕訣  
 兩界曼荼羅口訣  
 兩界曼荼羅口訣  
 兩部曼荼羅私抄  
 兩部曼荼羅私抄  
 祕密密輪壇義  
 正傳現圖漫荼羅印行記  
 現圖曼荼羅略要  
 造壇問訣  
 理趣會曼荼羅

印 融 二十三  
 印 融 二十三  
 寂 本 二十三  
 妙 瑞 二十三  
 快 道 二十三  
 濟 暹 二十四  
 宏 教 二十四  
 著者不詳 二十四  
 著者不詳 二十四  
 印 融 二十四  
 著者不詳 二十四  
 慧 光 二十四  
 常 塔 二十四  
 輝 潭 二十四  
 慧 曦 二十四  
 嚴 覺 二十四



理趣經秘密曼荼羅圖	著者不詳	二一四
北斗曼荼羅祕記	宥 證	二一四
四曼義纂要	南 靈	二一四
眞言附法本朝血脈(勸)	著者不詳	二一五
野澤大血脈	著者不詳	二一五
血脈鈔(野澤)	杲 實	二一五
東寺眞言宗血脈	宥 快	二一五
血脈私抄	著者不詳	二一五
西院血脈	印 融	二一五
血脈(中院)	印 融	二一五
密宗血脈鈔	著者不詳	二一五
三十六流大事	恭 畏	二一五
諸印信口決	著者不詳	二一五
御遺告祕決	印 融	二一五
御遺告勘註抄	實 運	二一六
	尙 祚	二一六

御遺告釋疑抄	賴 瑜	二一六
御遺告	賢 實	二一六
御遺告祕訣	快 全	二一六
御遺告裏書	宥 快	二一六
御遺告傳授頭書鈔	成 雄	二一六
御遺告勘註	景 巖	二一六
御遺告聞書	賴 慶	二一六
御遺告私記	觀 應	二一六
遺 誠 木 鐸	法 明	二一六
御七日御修法日記(文治五年)	著者不詳	二一七
御七日御修法日記(建久三年)	範 賢	二一七
眞言院後七日作法	著者不詳	二一七
後七日見聞雜記	眞 源	二一七
勸修寺流後七日御修法具書	眞言宗傳燈會編	二一七
西院流後七日御修法具書	眞言宗傳燈會編	二一七
後七日御修法披露文		二一七

太元法諸次第	悉曇私記	悉曇初心抄	悉曇字記創學鈔	悉曇決擇鈔	悉曇考覈鈔	悉曇字記聞書	十八章反音私抄	悉曇連聲集	悉曇初學階梯鈔	梵字悉曇字母并釋義發軔	聲實抄	聲明集聞書	聲明集口傳	聲明集私案記
二七七	二七八	二七八	二八八	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	三十一	三十一	三十一	三十一

魚山私鈔略解	聲明聞書	博士指口傳事	聲明聲決書	乞戒聲明古草摺拾	諸講表白甲乙事	進流聲明撮要	三箇祕韻聞記	聲明大意略頌文解	聲明愚通集	式一貫祕口傳鈔	四座講式註解	密宗聲明系譜	祕鈔表白	表白集	東草集
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十一	三十一	三十一

宗叔	正智房	果實	長覺	宥快	宥快	印融	澄禪	著者不詳	快澄	靈瑞	著者不詳	著者不詳	著者不詳	忠我	著者不詳
二七八	二八八	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九	三十一	三十一	三十一	三十一	三十一

理峯	廉峯	著者不詳	慈鏡	真源	蘊善	宥雄	寂照	寂照	惠岳	真亮	景義	真源	守覺	貞慶	賴豪
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十一	三十一	三十一



諸尊表白抄  
 表諷讚雜集  
 諸表白  
 十二月景氣  
 諸祭文  
 祕密漫荼羅教付法傳纂解  
 祕密漫荼羅教付法傳鈔  
 付法傳見聞  
 檢校明算阿闍梨傳  
 宥快法印物語  
 南山中院眞言祕法諸祖傳譜  
 類聚八祖傳  
 傳燈廣錄  
 金剛峯寺諸院家析負輯  
 紀伊續風土記高野山之部  
 高野山先哲灌頂記錄

印融 三十一  
 著者不詳 三十一  
 著者不詳 三十一  
 運敞 三十一  
 信龍 三十一  
 著者不詳 三十二  
 懷英 三十二  
 快尊 三十二  
 維實 三十二  
 榮海 三十三  
 祐實 三十三  
 著者不詳 三十四  
 三十四・三十五  
 三十六・四十一  
 四十一

信堅院號帳  
 高野山諸院家日記  
 高野伽藍院跡考  
 金剛峯寺巡禮次第  
 南山山祕口  
 南山山要集  
 天正高野治亂記  
 高野山說物語  
 金剛峯寺年中行事記  
 金剛峯寺年中下線  
 自宗法衣記

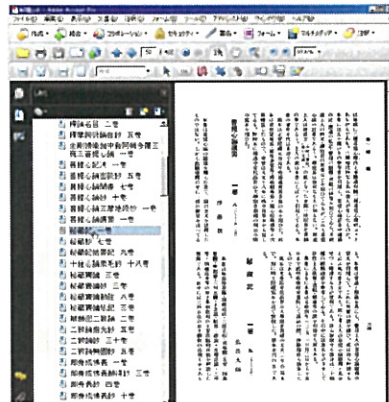
信堅 四十一  
 重義 四十一  
 懷英 四十一  
 高辨 四十一  
 道範 四十一  
 著者不詳 四十一  
 著者不詳 四十一  
 著者不詳 四十一  
 著者不詳 四十一

## 収録データに関して

- DVD-ROMに収録されております各巻のPDFファイルを開いて(図一)いただきますと、しおりが設定されております。
- しおりをクリック致しますと該当の頁が表示されます。(図二)
- 会報の二五・四二号は欠号です。



図一



図二

※PDF画像としてDVD-ROM1枚に収録、  
検索機能は付いていません